

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	初石公民館施設整備改修事業			会計	款	項	目	大事	小事
				01	10	05	06	03	55
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	公民館				
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もがができる生涯学習の推進		主管課長	中西 直人				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	初石公民館利用者	意図	施設利用者に安全で快適に利用できる状態にする。
事業内容	施設利用者に快適で安全な施設利用を提供するため、施設整備を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	昭和54年に開設した施設である。平成28年度には、老朽化したエレベーターの更新を行った。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	利用者件数の増減率		-5.40	1.30	%	↑↑↑	当該年度／前年度－1
②	利用者人数の増減率		-7.80	.30	%	↑↑↑	当該年度／前年度－1	
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 昭和54年に開設した施設である。平成28年度には、老朽化したエレベーターの更新を行った。		
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)				16,019,210				
事業費(b)(円)				14,852,160				
うち一般財源				14,852,160				
職員給与費(c)(円)				1,167,050				
人役・職員(人)				0.17				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	昭和54年開設以降、更新していないエレベーターの更新工事を行う。	③取組の課題	施設の老朽化しているため、計画に位置づけて整備を進めることが大切であるが。
②今年度(H28)に実施した取組	工事期間中であるが、利用者への事前周知を行い会議室等は開館し、利用者への通常利用に供した。	④今後の改善計画	平成29年度には外壁・屋上防水改修工事を実施する。